



まきの木

令和5年 10月23日

堀津小学校



▲学校HPへ

学校の教育目標『心豊かに伝え合い たくましくやりぬく子』

後期も「えがおいっぱい かがやきいっぱい 堀津の子」

後期の始業式では、堀津小の合い言葉「えがおいっぱい かがやきいっぱい 堀津の子」について話しました。話の中では、明石家さんまさんの生き方「笑顔のまま 生きてるだけで丸もうけ」から「えがおいっぱい」で生活する大切さについて考えました。さんまさんがこの言葉を大切にしているのは、幼いときに実母を、そして、兄弟も亡くすというつらい出来事があったことや1985年に起こった日航機墜落事故の事故機に搭乗することになっていたにも関わらず、便を早めたことで難を免れたという運命的な出来事があったことに起因しています。

いつも全力全身でトークしたり笑わせたりすることで、命の重みを感じ亡くなった人の分までがんばって生きようとしていること、そして、悲しい顔をしている人を笑顔にさせることが自分自身の何よりの幸せになっていることを話しました。

そして、一生懸命の先に「笑顔」があることも話しました。二重跳びができない子が一生懸命練習し続け、やっと跳べるようになったとき、「笑み」がこぼれます。それを見ていたまわりの子にも「笑顔」があふれます。

後期は、自分がやらなければならないことや立てた目標を一生懸命がんばってやり遂げたときに、「笑顔」になり、それを見ている周りの人も励ましたり、一緒に喜びを分かち合ったりして、「笑顔」がどんどん広がっていくようになると素敵です。そんな姿をイメージしながら、後期は、「えがおいっぱい かがやきいっぱい 堀津の子」を合い言葉にしてがんばっていきます。

修学旅行に行ってきました！

6年生が、10月3日（火）、4日（水）の2日間、修学旅行に行ってきました。6年生38人全員がそろって修学旅行に行けたことは、子供たちのがんばりと保護者の皆様のご協力があったことです。ありがとうございました。

1日目は、法隆寺、奈良公園、宇治平等院を見学しました。世界最古の木造建築である法隆寺から見学がスタートしました。例年、とても混雑している法隆寺ですが、ちょうどすいている時間帯だったのか、ゆっくりと見学することができました。

東大寺では、目をつぶって大仏殿に入りました。見上げた時に見えた大仏の大きさに驚き、「わーっ」と声をあげ、大きさを実感できました。鹿がたくさんいる園内を散策しながら、しかせんべいを食べさせたり頭をなでたりして、秋の奈良公園を存分に楽しみました。

1日目の最後は、宇治平等院です。疲れも見せずに十円玉を取り出して比べながら見たり写真を撮ったりする姿も見られました。

ホテルでは、京都らしい会席風のお料理の説明を料理長の方から聞きながら味わいました。赤いこんにやくに驚いた子もありました。反省会では、「本当の仲間とは」について、頭をぐるぐる回転させ真剣に話し合う姿が見られました。

2日目は、子供たちは、京都班別タクシー研修でした。各班の計画に従ってタクシーの運転手の方にガイドしてもらって見学をしました。金閣寺・銀閣寺・三十三間堂・二条城・清水寺等を見学して歴史を感じてきました。

スローガン「本当の仲間になって、最高の修学旅行にしよう」を意識しながら、仲間との絆や感謝の思いを感じ、そして、学習を深めることができた2日間でした。卒業に向けて、さらに力を高めていきたいと思います。引き続き、温かい言葉掛けをよろしくお願いします。



奈良公園



法隆寺



宇治平等院